

# けんこう静岡

第126号

平成28年  
(2016年)  
7月1日(金)

季刊 1部50円 年200円  
(送料税込)

発行所  
公益財団法人 静岡県予防医学協会

http://www.shsa.net/

(静岡事務所)	〒421-1292 静岡市葵区建徳1-3-43	(054) 278-7716
(藤枝健診センター)	〒426-0053 藤枝市善左衛門2-11-5	(054) 636-6461
(総合健診センター)	〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8	(054) 636-6460
(東部事務所)	〒410-0011 沼津市岡宮1210-1	(055) 921-1934
(西部検査所)	〒435-0006 浜松市東区下石田951	(053) 422-7800
発行責任者	石黒 満	印刷 池田屋印刷株式会社

## 健康長寿日本一に向けたふじのくにの挑戦

### ―地域力を活用した健康なまちづくり―

#### キーワード…健康寿命、健康長寿プログラム、ソーシャルキャピタルの醸成

静岡県健康福祉部医療健康局健康増進課

課長 土屋 厚子



### 1 概要

平成24年6月厚生労働省が初めて公表した「健康寿命」において、本県は男性2位、女性1位、男女総合1位(本県試算)となった。「健康寿命」とは、健康上の問題で、日常生活が制限されることがなく生活できる期間である。

しかしながら、健康寿命と平均寿命との差を見ると、男性8.35年、女性10.89年となり、健康上の問題で、日常生活に支障がある期間となる。本県の高齢者がいきいきと暮らすためには、さらに健康寿命を延伸していく取組を進めなければならない。このため、行政の取組だけでなく、企業、団体も巻き込んだソーシャルキャピタルを活用した健康づくり対策が必要である。

本県では、平成24年度から「ふじの

### くに健康長寿プロジェクト」に取り組んでいる。そのプロジェクトの5本柱は、①県民が健康づくりに参加しやすい「ふじ33プログラム」の開発・普及、②国保、健保、協会けんぽを含めた61万人の特定健診データを分析等の健康長寿の研究(データを活用した地域の課題のマップ化、見える化)、③

企業の積極的な健康づくり活動に「企業・事業所への表彰」、④市町が主体となる「健康づくりマイレージ事業」⑤重症化予防事業であり、市町、企業などともに連携して推進し、地域力がアップしているのを報告する。

2 健康寿命を延ばすための取組、事業概要と特徴

△データを活用した地域の課題のマップ化、見える化▽

### 特定健診データの分析 (610,395人)

本県では、県民の特定健診データを分析して地図に落とし込み、市町、医療保険者の健康づくりに資する「健康マップ」を平成22年度から作成している。

最初は、国保のみであったが、平成23年度からは、市町国保・国保組合・共済組合・健保組合・協会けんぽのデータを加えて、平成25年度分は約61万人ものデータを分析している。

県内に、本拠地を置く医療保険者の協力(全90)のうち、83医療保険者の協力を得ている。

分析の結果、東部地域の市町において、「メタボ該当者、高血圧症有病者、習慣的喫煙者が多いこと」が明らかにになった。

市町の特定健診データを市町単位、医療保険者単位で分析・評価することにより、地域の健康課題を明確にして、予防すべき疾病及び対象集団を明らかにし、医療保険者や関係者に対して結果の提供を行っている。また、市町の小、中学校区ごとに分けて分析している。

徐々にはあるが、マップの赤の色(県全体に比べて有意に多い所)を変えようとする「健康マップの色を変えようプロジェクト」や、健康寿命のデータから「お達者度向上プロジェクト」が市町にできたりした。

ソーシャル・キャピタルの醸成のために、保健委員や民生委員、消防団、商工会議所、農業、観光の方々にも、マップを見せ、自覚してもらおうところから始めた。地区医師会にもお見せしている。健康課題に対して、自分たちでできる問題解決の方法を話し合っている。保健師や管理栄養士はプロとして、懇切にいねいに助言している。

ときに食品摂取頻度調査を行った。

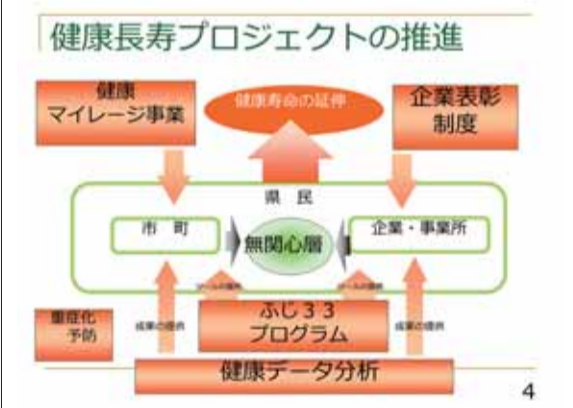
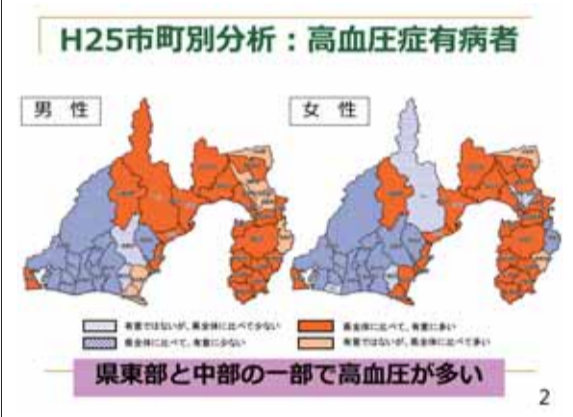
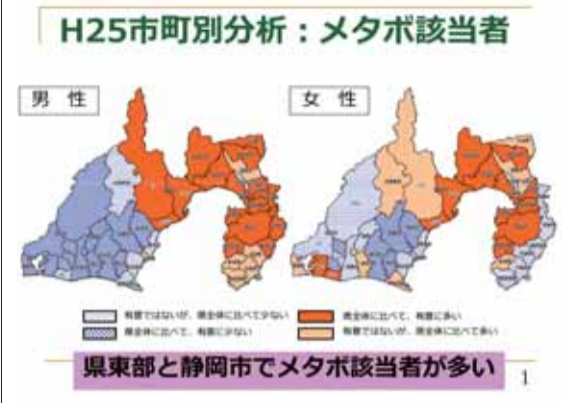
伊豆地域は、漬物、干物、味噌汁などの塩味の濃い料理を、東部地域は揚げ物料理を、西部は、サラダ、煮物など野菜や芋料理を食べる回数が多く、地域によって異なる「食」の特徴が見られた。

○ まとめ

特定健診データを入手、分析し、「健康マップ」を作成することで、県内のメタボ該当者、高血圧症有病者、習慣的喫煙者といった生活習慣に関する傾向がひとめで見えるようになり、どの地域にどのような健康課題があるのか把握することが可能になった。この「健康マップ」の作成により、市町等における健康課題について、首長を含めた関係者間の認識の共有につながった。市町が、優先して取り組む課題が、明らかにになって、それを解決するための保健事業が展開できるようになった。

さらに、健康マップが新聞、広報等に取り上げられたことから、住民が地域の健康課題に気づくことができ、「私の地域は高血圧が多いから、塩分に気をつけよう。」などと自ら健康づくりを行うきっかけとなった。この地域診断の結果がソーシャルキャピタルの醸成につながっているとされている。

また、特定健診データを市町の中学校区ごとの単位でマップ化したことでは、保健委員自治会役員等も、地域の健康課題に気づくことができ、健康づくりの活動が活発になっている。



健康づくりを行うきっかけとなった。この地域診断の結果がソーシャルキャピタルの醸成につながっているとされている。

また、特定健診データを市町の中学校区ごとの単位でマップ化したことでは、保健委員自治会役員等も、地域の健康課題に気づくことができ、健康づくりの活動が活発になっている。

年一回は健康チェックを!

健康はあなたの財産です  
すこやかな明日のために

人間ドック  
脳ドック

総合健診センター  
ヘルスポート  
〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8  
TEL 054-636-6460  
FAX 054-636-6465  
0120-39-6460